

科目名	編曲 I		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 講義・実習
期間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 135 分	
修得目標	メロディとその他の要素との関連について理解し、編曲に活用できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業ガイダンス			
2	4月24日	メロディとその他の音楽を構成する要素について			
3	5月8日	スケールとキー1			
4	5月15日	スケールとキー2			
5	5月22日	音程			
6	5月29日	コード1			
7	6月5日	コード2			
8	6月12日	ダイアトニックコード1			
9	6月19日	ダイアトニックコード2			
10	7月3日	メロディとスケール、コードの関連1			
11	7月10日	メロディとスケール、コードの関連2			
12	8月21日	メロディに対するコード編曲1			
13	8月28日	メロディに対するコード編曲2			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること／授業内で随時プリント配布				
注意事項	39 時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ProTools実習 I		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	スタジオサウンドコース、作曲・DTMコース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 135 分	
修 得 目 標	ProToolsの基本操作と概念をマスターする、スタジオワークにて常識となる技術を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	ProToolsの基礎1 ProToolsでできること			
2	4月24日	ミックスウィンドウの概要			
3	5月8日	編集ウィンドウの概要			
4	5月15日	編集ウィンドウ(編集モードと編集ツール)について			
5	5月22日	編集ツールを使ってのオーディオクリップの編集方法			
6	5月29日	インサートセクションの役割と、プラグインの使い方①			
7	6月5日	インサートセクションの役割と、プラグインの使い方②			
8	6月12日	システムの概要(プレイバックエンジン・H/Wバッファサイズ)の設定			
9	6月19日	オートメーションの概要			
10	7月3日	メモリーロケーション機能とナッジ値の概要			
11	7月10日	マスターフェーダとVCA機能の理解			
12	8月21日	ミックスバウンスの概要			
13	8月28日	デモ音源によるトラックダウン作業の方法			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作曲 I		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 講義・実習
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	曲の構成を分析し、歌詞やコードとの関連を意識してメロディを作曲できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス／既成の楽曲の分析1			
2	4月25日	分析をもとにした模倣			
3	5月9日	既成の楽曲の分析2			
4	5月16日	分析をもとにした模倣			
5	5月23日	既成の楽曲の分析3			
6	5月30日	分析をもとにした模倣			
7	6月6日	既成の楽曲の分析4			
8	6月13日	分析をもとにした模倣			
9	6月20日	コードからの作曲1			
10	7月4日	コードからの作曲2			
11	7月11日	コードからの作曲3			
12	7月18日	課題作成1			
13	8月22日	課題作成2			
14	8月29日	課題作成3			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること／授業内で随時プリント配布				
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM制作		担当講師	中村未央、作山 厚	
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTMコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	32 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	DAW(Cubase)の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス			
2	4月19日	Cubaseの基本操作と実践① / 作曲・編曲の基礎①			
3	4月25日	Cubaseの基本操作と実践② / 作曲・編曲の基礎②			
4	4月21日	Cubaseの基本操作と実践③ / 作曲・編曲の基礎③			
5	5月9日	Cubaseの基本操作と実践④ / 作曲・編曲の基礎④			
6	5月10日	Cubaseの基本操作と実践⑤ / 作曲・編曲の基礎⑤			
7	5月16日	Cubaseの基本操作と実践⑥ / 作曲・編曲の基礎⑥			
8	5月17日	Cubaseの基本操作と実践⑦ / 作曲・編曲の基礎⑦			
9	5月23日	Cubaseの基本操作と実践⑧ / 作曲・編曲の基礎⑧			
10	5月24日	Cubaseの基本操作と実践⑨ / 作曲・編曲の基礎⑨			
11	5月30日	Cubaseの基本操作と実践⑩ / 作曲・編曲の基礎⑩			
12	5月31日	Cubaseの基本操作と実践⑪ / 作曲・編曲の基礎⑪			
13	6月6日	K-1ライブに向けた楽曲制作①			
14	6月7日	K-1ライブに向けた楽曲制作②			
15	6月13日	K-1ライブに向けた楽曲制作③			
16	6月14日	K-1ライブに向けた楽曲制作④			
17	6月20日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑤			
18	6月21日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑥			
19	7月4日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑦			
20	7月5日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑧			
21	7月7日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑨			
22	7月11日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑩			
23	7月12日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑪			
24	7月14日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑫			
25	7月18日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑬			
26	7月19日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑭			
27	7月21日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑮			
28	8月22日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑯			
29	8月23日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑰			
30	8月25日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑱			
31	8月29日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑲			
32	8月30日	K-1ライブに向けた楽曲制作⑳			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	96時間中 33時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	リズム		担当講師	神田直樹	
講師実務経験	ドラマー、パーカッショニスト				
対象学年	1 学年	対象コース	ミュージシャンコース各専攻		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	音符や休符、リズムの仕組みを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	拍と小節、4分と8分それぞれの音符と休符を修得する			
2	5月10日	16分音符、休符と構成音(4音構成、3音構成)の修得する			
3	5月17日	16分音符、休符と構成音(2音構成、1音構成)の修得する			
4	5月24日	8分3連符と構成音(3音、2音、1音構成)を修得する			
5	5月31日	8分音符のクリック移動を修得する			
6	6月7日	タイとスラー、シンコペーションを修得する			
7	6月14日	リズムを構成する音の要素を修得する			
8	6月21日	アクセントとバックビートの知識を修得する			
9	7月5日	フィールとビートの知識を修得する			
10	7月12日	実技試験対策			
11	7月19日	実技試験・筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞				担当講師	杉本直香	
講師実務経験	シンガーソングライター						
対象学年	1	学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態	講義
期間	前期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
修得目標	作詞の基礎を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月20日	詩の大切さを理解する					
2	5月11日	曲の分析					
3	5月18日	分析結果から新たに作詞					
4	5月25日	ら抜き言葉					
5	6月1日	作詞で使える色の表現について(1)					
6	6月8日	作詞で使える色の表現について(2)					
7	6月15日	作詞で使える天気や景色の表現について(1)					
8	6月22日	作詞で使える天気や景色の表現について(2)					
9	7月6日	曲・歌詞から詩的表現を集める					
10	7月13日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(1)					
11	7月20日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(2)					
12	8月24日	当用漢字・常用漢字					
13	8月31日	比喩(直喩・隠喩)					
14							
15							
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	キーボード実習		担当講師	水口陽子	
講師実務経験	ピアノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	DTMや作曲、編曲をする際にキーボード活用できるよう、伴盤上でのリズムやコードの理解を目指し、基礎トレーニングを含めコードワークや奏法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業概要及び基本トレーニング方法とスケールの運指について			
2	5月11日	基本トレーニング スケール練習 トライアドの習得			
3	5月18日	基本トレーニング トライアド+6th,7th,M7thの習得			
4	5月25日	基本トレーニング アルペジオ			
5	6月1日	基本トレーニング コード転回			
6	6月8日	基本トレーニング コードワーク(4、8、16beatの弾きわけ)			
7	6月15日	基本トレーニング コードワーク(スムーズなコードチェンジ)試験曲			
8	6月22日	基本トレーニング 4beatフレーズ(シャッフル記号における)試験曲			
9	7月6日	基本トレーニング パラディロル 試験曲			
10	7月13日	基本トレーニング キーボードアンサンブル			
11	7月20日	基本トレーニング 実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論 I			担当講師	森本 信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか					
対象学年	1	学年	対象コース	スタジオサウンドコース、作曲・DTMコース	授業形態	講義
期間	前期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	90 分
修得目標	音響理論・電気音響を習得するを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月21日	オリエンテーション(講義内容進行について・音楽の楽しさについて)				
2	5月12日	なぜ音響を学ぶのか、音響物理と楽音における『音』を考えてみる				
3	5月19日	音響技術に関わる最低限の知識とは、何を学ぶか、またその学び方とは以下、JAPRSサウンドレコーディング技術概論を教科書とし講義進行する				
4	5月26日	音響物理の基礎(音波、聴覚、など)				
5	6月2日	音響物理の基礎(尺度、decibelなど)				
6	6月9日	音響物理の基礎(波長、振動数、音律、特性など)				
7	6月16日	電気音響の基礎(直流回路、交流回路、電気磁気、オームの法則など)				
8	6月23日	電気音響の基礎(電子回路、トランス、インピーダンス、ダンピングなど)				
9	7月7日	音響機材やシステムについて(種類や目的、マイクやミキサーについて)				
10	7月14日	音響機材やシステムについて(種類や目的、マイクやミキサーについて)				
11	7月21日	音響機材やシステムについて(録音スタジオやステージのシステム)				
12	8月25日	音響機材やシステムについて(アコースティック音響、收音技法)				
13	9月1日	前期のまとめ、試験対策				
14						
15						
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、技術認定試験問題集ほか					
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	選択 DTM実習		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 / 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルファイルを活用したビート制作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパートとベースの打ち込み			
3	6月16日 6月23日	シンセサイザーVを使用した歌メロ入力			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習(選択)		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテーション、ケーブル巻き			
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い			
3	6月16日 6月23日	PAセットを組んで音を出してみる。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 REC実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワークを理解し、レコーディングエンジニアの職種を理解する。			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッティングをし録音作業を行う。			
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ヴォーカル実習		担当講師	吉田佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)			
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)			
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ギター実習	担当講師	川畑統正
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師		
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	ギター演奏の基本技術と知識の修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ	
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲	
3	6月16日 6月23日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト			
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 テレビ番組制作	担当講師	田端 優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務		
対象学年	1 学年	対象コース	各コース
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的知識と技術を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス～番組制作の現場について	
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について	
3	6月16日 6月23日	テレビスタジオで番組の収録を行う	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト	資料配布		
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 ドラム実習		担当講師	岸林大輔	
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	Dr.Set、リズムの基本を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Control&Foot リズムスタイル			
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタイル#2、Fill-In			
3	6月16日 6月23日	リズムスタイル#2、Fill-In、エチュード演奏、まとめ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ベース実習		担当講師	木村圭子	
講師実務経験	ベークシト				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)			
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)			
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明実習(選択)		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について			
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みからシュートまでについて			
3	6月16日 6月23日	光の演出効果について			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	文書デザイン(1期)		担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	ライター				
対象学年	1 学年	対象コース	選択		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	Word,Excelを中心に PCの初歩的な基本操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス PC操作・タイピングの基礎・Wordの基本的な操作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、ビジネス文書の形式、文字修飾、表・図形の挿入と編集を学ぶ			
3	6月16日 6月23日	Excelにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				